

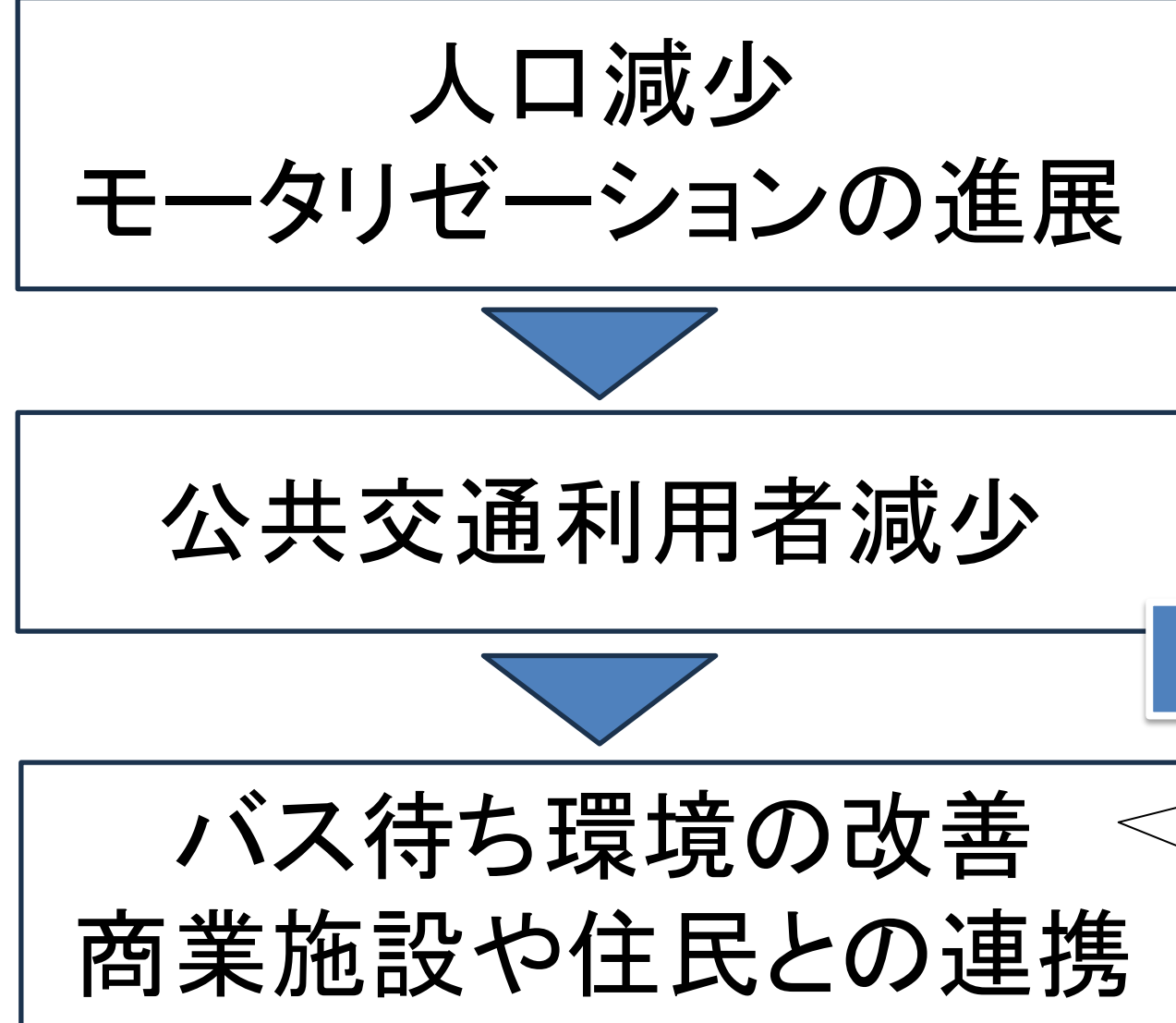
# 書店を中核とする商業施設へのバス停設置が 利用パフォーマンス及び生活満足度に及ぼす効果

Effects of Installing a Bus Stop in Commercial Facilities  
Centering on a Bookstore on Use Performance and Life Satisfaction

高橋葉納(オリエンタルコンサルタンツ) 高野伸栄(北海道大学) 岸邦宏(北海道大学)

## 1. 背景と目的

### 現状と課題



北海道江別市では…

多くの市民が  
江別蔦屋書店  
へのバス停設置  
を望む

### 目的

江別蔦屋書店を対象とし、  
商業施設へのバス停設置を仮定

地域住民の生活満足度  
向上への影響把握

商業施設への  
影響把握

### 蔦屋書店とは

本の販売のみではなく、カフェやショッピングを  
楽しむことができ、地域の方々の居場所となる  
施設を目指している「ライフスタイル書店」



## 2. アンケート調査概

調査対象	江別市民
調査方法	アンケート調査
配布日	2023/12/8 (金)
締切	2023/12/22 (金)
配布数	2000世帯
配布方法	地域指定配達による郵送配布
回収方法	郵送回収
回収数	郵送：426部 / Google form：87部
回収率	郵送：21.3% / Google form：4.4% 合計：25.7%

質問項目	内容
個人属性	年齢、性別、自家用車の有無など
現在の蔦屋書店の 利用状況	現在の蔦屋書店の利用頻度、利用目的、 移動手段など
蔦屋書店にバス停が 設置された場合 について	バス停設置による蔦屋書店の利用頻度変化、 利用目的変化、生活満足度変化など

## 3. 結果

### ① 普段のバスの利用頻度と移動手段変化の関係

	いつも 利用する	状況によって 利用する	利用しない
バスを日常的に 利用する (n=123)	30.2%	52.7%	17.1%
バスをほとんど 利用しない (n=312)	5.4%	47.5%	47.1%

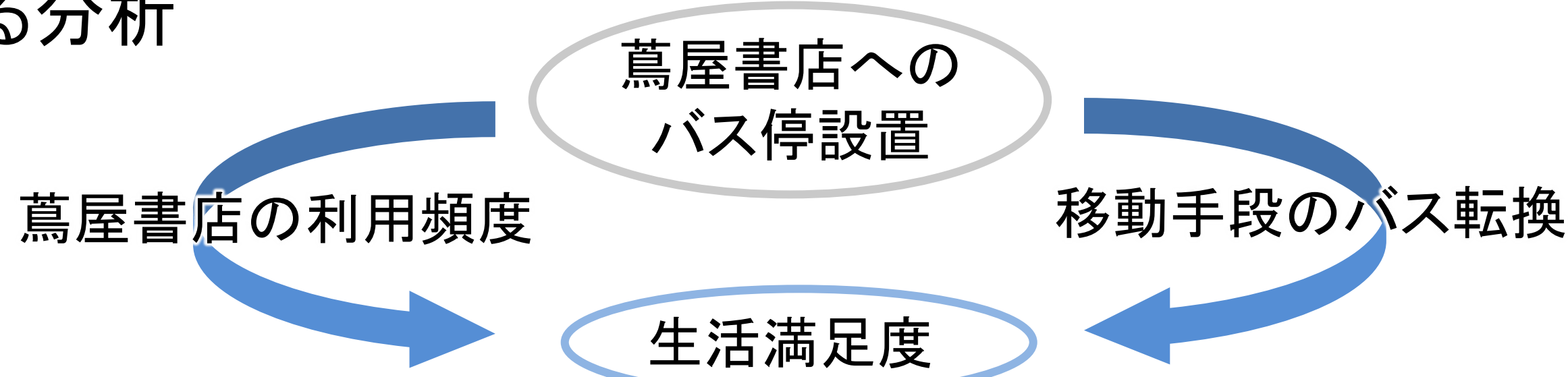
江別市の年齢別人口分布に従い算出

- バス転換が期待できると予想：普段からバスを利用する人  
バス停設置 → 8割以上の方がバスを利用する可能性がある
- バス転換が期待できないと予想：普段バスをほとんど利用しない人  
バス停設置 → 5割以上の方がバスを利用する可能性がある

### ② 共分散構造分析(SEM)による関係分析

#### 共分散構造分析

関連を持つ複数の要素間の関係性やその程度をモデル化する分析



#### 個人の移動可能性について

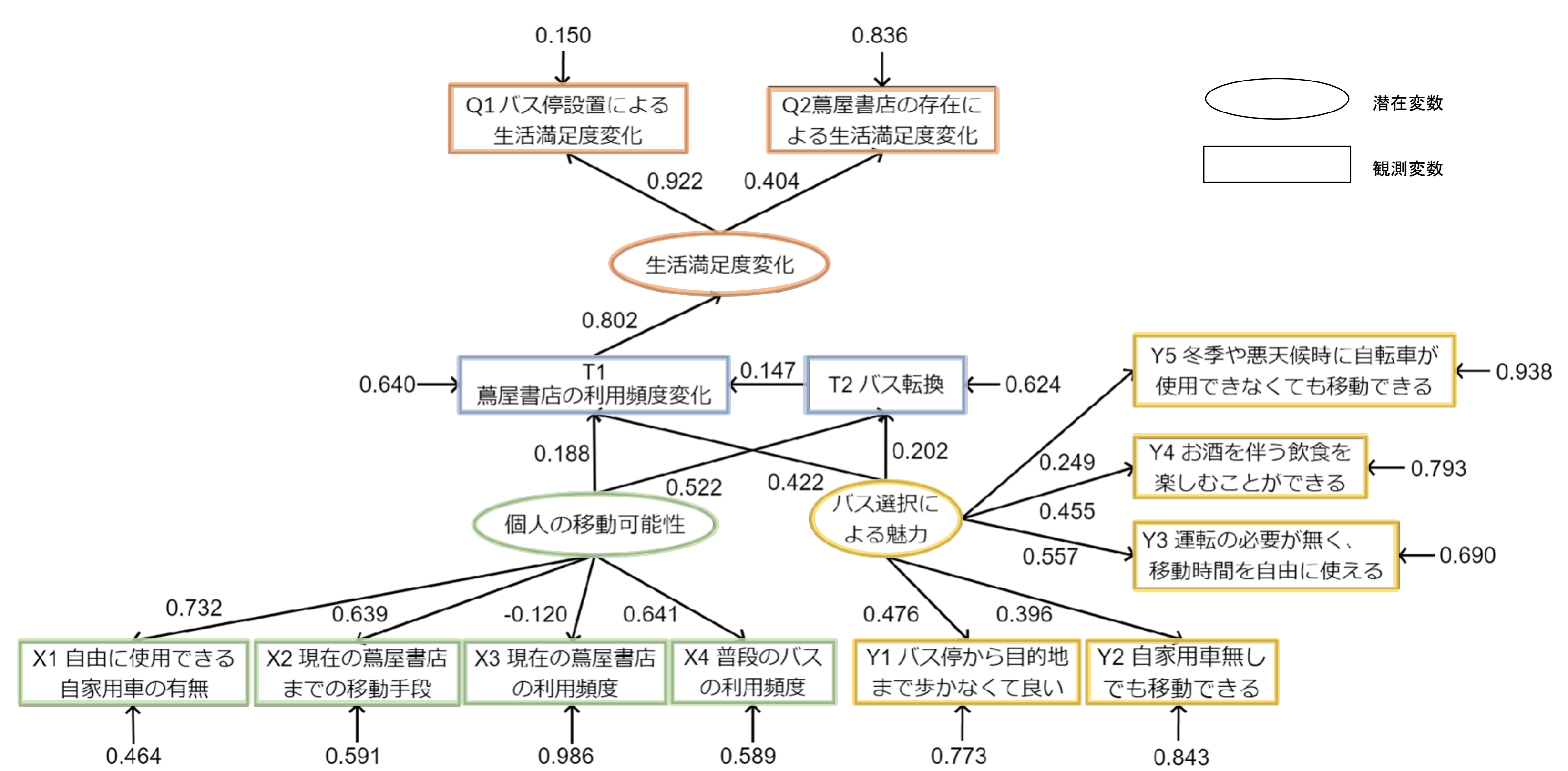
・バスの魅力を感じる人は現在の蔦屋書店の利用頻度が高く  
なくても移動手段をバスに転換する

#### バス選択による魅力について

・バス停設置が蔦屋書店へ行く際にハードルとなっていたもの  
を軽減してくれる

#### 生活満足度について

・移動手段のバス転換が蔦屋書店の利用頻度の増加に影響  
し、利用頻度の増加が生活満足度向上に影響している



## 4. 結論

商業施設へのバス停設置による効果  
移動手段転換・商業施設の利用頻度増加・生活満足度向上